

シンポジウム いま語らなければ。福島

避難者の声

2011年の福島原発事故から、まる8年がたとうとしています。国と東電は事故の責任を否定し、被害に見合った賠償は行われていません。その一方、原発の再稼働が進められ、福島では多くの地域で避難指示が解除され、2020年オリンピックに向けて、「復興」がゴリ押しされる中、放射能汚染で避難を余儀なくされている人々の声がかき消されようとしています。

だからこそ、「いま語らなければ。福島」福島原発問題を問い続ける注目のパネリストお二人を迎えて開催します。ぜひご参加ください。

2019年 **2月17日(日)**

▶会場 **埼玉会館 7A会議室**

JR 浦和駅(西口)下車 徒歩6分

さいたま市浦和区高砂3-1-4 電話:048-829-2471(代)

<http://www.saf.or.jp/saitama/>

▶資料代 **1,000円** ただし、福彩訴訟原告および原発事故関連避難者の方は **無料**

【問合せ・申込】090-5406-6100(森) / 090-8879-0213(SSN・愛甲)
e-mail: apply@fukusaishien.com

▶13:00 開場 / **13:30 開演**

実行委員長による開会挨拶 (13:30~)

第1部：パネリストによる基調講演 (13:35~)

休憩 (15分)

第2部：シンポジウム (福彩訴訟原告・弁護団も加わって)
(15:00より1時間ほど)

福島原発さいたま訴訟を支援する会・代表による閉会挨拶 (16:00閉会予定)

閉会後に **懇親会があります** (無料 / お茶とお菓子をご用意します。)

除本理史
Yukeno Rishiro

原発賠償を問う
曖昧な責任、翻弄される避難者

その後の福島
原発事故後を生きる人々

吉田千亜
Chiya Yoshida

除本 理史

オリンピックの
忘れもの

人文書院

▲パネリストお二人の注目の著作

〈パネリスト〉

よけもとまさふみ

除本理史 (大阪市立大学大学院教授)

よしだちあ

吉田千亜 (フリーライター)

福島原発さいたま訴訟(福彩訴訟)

原告・弁護団

▶主催

『いま語らなければ。福島』実行委員会

(委員長=猪股 正:弁護士)

▶後援 埼玉弁護士会

▶協賛団体 (50音順)

エコネットくぬぎ山、原発事故責任追及訴訟埼玉弁護士会、埼玉西部・土と水と空気を守る会、震災支援ネットワーク埼玉、生活クラブ生協埼玉、福島原発さいたま訴訟を支援する会